

【はじめに】

三河湾の海(紺)、豊かな山(深緑) ～中学校新制服の導入に向けて～



蒲郡市教育委員会教育長 壁谷 幹朗

復活して4年目を迎えました「地域安全・青少年健全育成市民大会」が、今年は蒲郡市民会館中ホールが耐震工事のため、東ホールへ会場を変更しての開催となりました。事務局の青少年センターの皆さんのご尽力で、入念な準備計画のもと、心のこもった大変素晴らしい会となりました。

昨年度から、市内全中学校区で、学校運営協議会と地域学校共同活動を両輪とする、コミュニティ・スクールが始まりました。この地域学校協働活動におきましても、様々な活動が展開されています。本当にありがとうございます。

さて、生徒の皆さんの頑張りといった点で、昨年度から本年度にかけて取り組みを進めてきました、「中学校新制服の導入」について紹介します。

中学校長会は、昨年度9月、小学4年から中学3年の児童生徒と保護者にアンケートを実施。全体の7割が現在の制服に不便を感じているほか、値段が高い、機能性やデザインで選べるようにしてほしいなどの意見が出されました。

そこで、多様性や気候変動による温度差にも対応しやすいブレザー導入を決め、各校の生徒、保護者、教師の代表らによる「中学校新制服準備委員会」を設置し、2月より委員会を重ねてきました。

委員会では、事務局の「生徒の意見や考えを大切にしたい」との方針のもと、各学校で集めた意見をもとに意見交換したり、準備委員会で決定した内容を持ち帰り、生徒に説明したりしてきました。特に、第3回委員会では、代表生徒から出された「三河湾の海(紺)、豊かな山(深緑)」をキーワードに、みんなから愛される中学校新制服になるように、活発に話し合われました。

その後、5社の制服メーカーよりサンプルを提出いただき、2週間の展示期間を経て、児童生徒、保護者、教職員による投票で新制服のデザインを決定しました。新制服のデザインお披露目の会では、代表生徒が、デザインでこだわったこと、意見を統一するなかで苦労したこと、今後に期待することなどを紹介してくれました。特に、Aさんは、「一生懸命考えた制服をこれから多くの人が着てくれることがうれしい」、Bさんは、「セーラー服と違って使いやすくなっています。後輩に私たちの思いが伝わってほしい」と、笑顔で答えてくれました。

代表生徒らは、話し合いの場面で積極的に発言する一方、他校の代表生徒の意見をしっかり受け止めながら互いに尊重してかかわる姿がとても立派でした。これまで9年間育ててきた生徒の成長した姿だと改めて思いました。

最後になりますが、青少年健全育成推進事業にご尽力をいただいております皆様方に深く感謝申し上げます、本事業のさらなる充実・発展をご祈念いたしまして結びとさせていただきます。

も く じ

は じ め に

I	令和7年度	蒲郡市青少年健全育成地域活動推進事業	-----	1
II	令和7年度	青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動	----	2
	1	大塚地区	-----	3
	2	三谷地区	-----	7
	3	蒲郡地区	-----	11
	4	中部地区	-----	16
	5	塩津地区	-----	20
	6	形原地区	-----	27
	7	西浦地区	-----	32
	○	令和7年度	健全育成協議会並びにふれあい活動のまとめ	---36
III	令和7年度	補導及び児童・生徒の状況確認	-----	36
IV	令和7年度	青少年健全育成協力店	-----	37
V	令和7年度	地域安全・青少年健全育成市民大会	-----	38
	○	大会宣言	-----	39
VI	令和7年度	子ども・若者支援活動報告	-----	40

お わ り に

I 令和7年度 蒲郡市青少年健全育成地域活動推進事業

1 地域ふれあい活動の変遷

蒲郡市は、昭和41年5月の「青少年を守る都市宣言」の決議から、家庭・学校・地域社会が一体となって、青少年健全育成市民運動を展開してきた。昭和56・57年度に文部省(当時)と愛知県から小中学校生徒指導研究推進地域指定を受けたことを契機に、各中学校区で青少年健全育成協議会を立ち上げ、学校主導でPTAを対象に非行防止の話し合いをする「ミニ集会」が誕生した。その後、地域主導、地域住民対象へと広がり、内容も健やかな子どもを育てるための多様な方法を試みる場として変化していった。

時代が平成へ移るころには、子どもたちの社会体験・経験不足が叫ばれるようになり、ミニ集会は話し合い活動から清掃活動などの実践活動へと移行していった。平成7年度から数年をかけて、「地域ふれあい活動」として、地域の実態を勘案し、様々な内容で行われるようになった。子どもたちの参加が増加し、より参加意欲を高めるために企画の段階から中学生を取り込む地区が増えている。地域で活躍する中学生の姿を見て、小学生は次代の自分を思い描き、地域の大人たちは子どもたちを見直す機会となる。子どもたちは、地域の多くの方々と顔を突き合わせ、共に活動し、声を掛け合いながら互いの絆を深め、地域を愛する心が培われる。それが、子どもたちの健全な育成につながる。「地域ふれあい活動」は、こうした意味でとても価値ある活動となっている。同時に地域の活性化や地域の人をつながりを作る活動としても意義深いものとなっている。

このように蒲郡市の「地域ふれあい活動」は、時代とともに内容を少しずつ変え、現在に至っている。また、令和2年から続いた新型コロナウイルス感染症の流行により、多くの行事が中止となったが、内容を見直すきっかけにもなった。令和6年度頃から全地区で本格的な活動を再開できるようになった。

2 市内の青少年問題

蒲郡警察署の「犯罪と少年非行」によれば、市内の犯罪触法少年の数は、10年前の平成27年を100(35人)としたとき、令和6年は40(14人)だった。ぐ犯・不良行為少年は、平成27年を100(387人)としたとき、令和6年は54(208人)と10年前に比較して減少している。令和6年に警察に補導された行為別では、深夜徘徊が183人(88.0%)、喫煙が18人(8.7%)となっており、合わせて96.7%を占めている。

小中学生の問題行動においては、市内全体としては大変落ち着いた状況であるが、やはり個々に見ていくと、家庭や本人に問題を抱え安定した生活を送ることのできない子どもたちもいる。とりわけ不登校については、令和6年度調査では、病気以外の年間30日以上欠席者は中学校で126人(6.3%)、小学校で57人(1.6%)であった。中学校では前年度より減少しているが、小学校は増加している。

青少年センター内の子ども・若者相談窓口では、メール相談ができる仕組みも整え、多様な相談に対応している。

II 令和7年度 青少年健全育成協議会・地域ふれあい活動

1 健全育成協議会・準備運営委員会等

地 区	実 施 月 日	場 所	参加者数
1 大塚	4月24日 (木)	大塚公民館	23
	5月27日 (火)	大塚公民館	56
2 三谷	2月19日 (木)	大塚小学校	22
	5月27日 (火)	三谷中学校	18
	6月3日 (火)	三谷中学校	94
3 蒲郡	4月10日 (木)	蒲郡中学校	20
	5月8日 (木)	蒲郡中学校	88
4 中部	5月12日 (月)	中部中学校	68
	11月11日 (火)	中部中学校	36
5 塩津	5月10日 (土)	塩津中学校	81
	11月14日 (金)	塩津中学校	63
6 形原	4月5日 (土)	形原中学校	20
	5月10日 (土)	形原中学校	65
	1月10日 (土)	形原中学校	16
7 西浦	4月21日 (月)	西浦中学校	44
	5月8日 (木)	西浦公民館	52

2 地域ふれあい活動(ミニ集会・ミニ活動)

地 区	会場数	参加延べ人数	開催期間
1 大塚	4	835	6月7日 ~ 10月5日
2 三谷	1	300	11月30日
3 蒲郡	6	1,075	5月11日 ~ 11月30日
4 中部	6	1,010	5月18日 ~ 8月2日
5 塩津	9	1,893	6月1日 ~ 10月18日
6 形原	3	1,400	6月1日 ~ 8月24日
7 西浦	1	500	8月2日
計	30	7,013	

1 大 塚 地 区

1 健全育成協議会運営委員会

4月24日(木)午後1時より運営委員23名が大塚公民館に集まり、令和7年度大塚中学校区青少年健全育成協議会第1回運営委員会を開き、以下の内容を協議した。

- (1) 令和7年度活動方針
- (2) 令和7年度活動計画
- (3) 令和7年度委託料予算
- (4) 令和7年度健全育成協議会のもち方
- (5) 3地区地域ふれあい活動
- (6) その他

・大塚中学校区健全育成協議会のスローガン「みんなわが子 手と手を取り合い育てよう 心豊かな大塚っ子」のもと、活動の5本柱を中心に意見を交流しあった。

ふれあい活動が再開され3年目をむかえ、それぞれの立場でどのように関わっていけるか意見を出し合った。各区の取り組みの様子や再開したことで新たに生まれた課題などについて意見を出し合い、すり合わせた。

また、小中学校での児童生徒の様子を報告したり、大塚地区の町の中で見かける子どもたちの様子や、気になることなどの意見を交流したりした。

2 大塚中学校区青少年健全育成協議会(参加者 56名)

- (1) 日 時 令和7年5月27日(火)13時45分～15時30分
- (2) 場 所 大塚公民館
- (3) 参加者 3地区総代、市議員、奉公社代表理事

公民館長、公民館主事、保護司、民生委員・児童委員主任児童委員、人権擁護委員、更生保護女性会、交通安全事務局長、少年補導委員、老人クラブ代表、子ども会役員、小中PTA役員、おおつか児童館長、大塚・大塚西保育園長、地域学校協働活動推進員、小中高の学校関係者



<情報交換>

(4) 内 容

- ① 市民憲章唱和・・・鈴木 康記 氏(大塚中学校PTA副会長)
- ② 開会の言葉・・・澤田 洋春 氏(西大塚総代)
- ③ 主催者あいさつ・・・山口 俊明 氏(協議会長、東大塚総代)
- ④ 来賓あいさつ・・・浅井 智彦 氏(蒲郡警察署生活安全課長)
- ⑤ 協 議

ア ねらい

家庭・学校・地域及び関係諸機関が手を取り合って、地域ぐるみの青少年健全育成活動を展開し、心身ともにたくましい大塚の青少年を育成する。

スローガン

『みんなわが子 手と手を取り合い育てよう 心豊かな大塚っ子』

イ 活動内容

- ・地域ふれあいクリーン活動 6月7日(土) 10時00分～11時30分
大塚海岸→小学4～6年生・中学1年生・PTA役員・地域の人
中学校通学路清掃→西斜面 中学2年生 南斜面 中学3年生
大塚海浜緑地→蒲郡東高校ボランティア
- ・3地区地域ふれあい活動開催予定
- ・子どもたちを守る運動→立ち番・巡回
- ・啓発広報活動→健全育成標語・ポスター・意見文を募集する

ウ 令和7年度予算

ふれあい活動推進費 60,000円

健全育成協議会運営費 29,000円

⑥ 意見・情報交換

<地域> 保護司 人権擁護委員 主任児童委員 更生保護女性会
おおつか児童館 地域学校協働活動推進員

<学校> 蒲郡東高等学校長 大塚中校務主任 大塚小校務主任
大塚保育園長 大塚西保育園長

<地域としての話し合い>

- ・周りの人たちに無関心にならないことが必要である。不審者と思われることを恐れずに、積極的に声かけをしたり気を配ったりして、生活をしていくことが大切である。



<意見交換>

<中学校のルールについての話し合い>

- ・大塚中生は落ち着いていて優しい生徒が多い。自分たちで校則を見直し、それに基づいて生活をする事ができている。決められたルールはきちんと守れる生徒が多い。

⑦ ごあいさつ・・・ 鈴木 洋 氏 (蒲郡市青少年センター所長)

⑧ お礼の言葉・・・ 多田 敦 氏 (大塚中学校長)

⑨ 閉会の言葉・・・ 本庄 茂 氏 (相楽町総代)

・一部の意見を一方的に発表するだけではよくないと考え、昨年度から地区ごとに集まって、それぞれの地区で話し合いを行っている。各區で出た意見は代表者がまとめ、全体場で共有することができた。みんなで大塚地区をよりよくしようという活発な話し合いができた。

3 地域ふれあい活動

- (1) 日 時 6月7日(土) 10時00分～11時30分(小・中)
- (2) 会 場 大塚海岸、中学校通学路(大塚中南・西斜面)、大塚海浜緑地
- (3) 参加者 約370名(小中生210名、教職員50名、P T A役員・地域の方々約110名)
- (4) 活動内容「大塚地区ふれあいクリーン活動」

(大塚海岸・中学校通学路清掃)

小中学校ともに「海岸清掃の大切さ」について事前に授業で取り組みを行った。共に汗を流す中で、自然と地域やP T Aの人たちと声をかけあったり手助けをしたりと温かな交流がうまれた。きれいになった海岸を見て、達成感と海を守っていこうという気持ちがよりいっそう深まった。



<海岸清掃全体の様子>

<参加児童・生徒の感想>

海岸には、いろいろな種類のゴミが落ちていました。その中には海から流れてきた物や海岸に捨てられた物がありました。そこに住んでいる生き物にとってそれがすごくつらいことだと思います。私は、生き物が嫌な気持ちにならないようにゴミを捨てることは絶対にやめようと思いました。(小学生)

今年は、「海岸清掃を学ぶ会」で講演を聞いたことで、いつもよりも頑張ろうという気持ちになりました。海岸をきれいにすることで、地域の人たちとの関わりが増えたり、友達のいいところがみられたりして良かったと思いました。(中学生)

東大塚地区

日時 10月5日(日)9時00分～11時00分

会場 大塚中学校【参加者 約115名】

テーマ 「自主防災訓練」

本年度は、ふれあい活動の原点に返り、地域の自主防災訓練に小中学生も参加させてもらうという試みで行った。大きな地震が発生し体育館が避難所になったという想定で、テントを張ってみたり、簡易トイレを設置してみたり、知識だけでなく、体験活動もすることができた。



<防災テント打合せ>

<参加児童・生徒の感想>

小学校の時に、防災の授業で、中学校の防災倉庫の中を見たことはあったけど、実際に使うところが見られておもしろかった。(小学生)

中学校の授業で、防災のことを勉強しています。でも、防災グッズの実物を触ったり使ったりすることは少なかったのでも、とてもいい経験になりました。災害が来てほしくはないけど、来てしまったらこの経験を生かしたいです。(中学生)

西大塚地区

日時 8月2日(土)16時00分～21時00分
会場 西大塚区民会館 【参加者 約240名】
テーマ 「夏祭り諸活動」
盆踊り大会、小中学校PTA模擬店、
中学生イベント（輪投げ、風船つり等）

16時からの『ちびっこあつまれ夏祭り』では、西大塚の中学生が4つのグループに分かれ、イベントの企画、運営を行った。小さい子ども達がひとつひとつのお店を回り、中学生がPTAの方と協力して楽しませることができた。中学生の参加意識も高く、活気と笑顔あふれる活動となった。



<盆踊り風景>

<参加児童・生徒の感想>

自分が小学生の頃に、中学生がお店番をしていて、楽しませてくれたことが思い出に残っています。自分が中学生になり、来てくれた人たちを楽しませたいと思ってボランティアに参加しました。みんなが笑顔になってうれしかったです。この会を開催してくれた地域の人たちに感謝をしています。ありがとうございました。（中学生）

相楽地区

日時 8月2日(土)17時00分～20時00分
会場 相楽生活センター 【参加者 約110名】
テーマ 「夏祭り諸活動」
(模擬店、盆踊り、ビンゴゲーム他)

相楽町地区は少ない人数ではあるが、PTAと地域の方々がひとつになって、かき氷、焼き鳥、団子などの模擬店を行った。役員の方はそろいのTシャツを作って活動しており、意気さかんであった。地域の方々が模擬店のやり方を生徒に丁寧に説明をし、生徒達も自信を持って楽しそうに参加をしていた。また、地区の多くの方が参加し、にぎやかな活動となっていた。



<模擬店風景>

<参加児童・生徒の感想>

たくさんの小さな子達が浴衣を着てうれしそうに参加をしてくれました。自分が作ったかき氷を地域の人たちや子ども達が「おいしいね。ありがとう」と言って食べてくれてすごくうれしかったです。盆踊りも練習に参加してから踊ったので、昔を思い出しながらなんだかなつかしく感じました。これからも、相楽のふれあい活動を大切にしていきたいと思いました。（中学生）

2 三 谷 地 区

本年度の三谷地区青少年健全育成協議会のテーマを「地域ぐるみで守ろう、育てよう、すこやか三谷っ子」とし、日常的に行うあいさつ運動や防犯を意識した活動に取り組んだ。健全育成協議会準備会及び全体会と地域ふれあい活動については、予定通り開催することができた。

1 健全育成協議会準備会

- (1)日 時 令和7年5月27日（火） 18時00分～19時00分
- (2)場 所 三谷中学校会議室
- (3)参加者 各区総代、小中学校PTA役員、学校関係者、事業推進委員（計18名）

2 青少年健全育成協議会

- (1)日 時 令和7年6月3日（火） 9時00分～10時30分
- (2)場 所 三谷中学校 体育館
- (3)参加者 各区総代、市議会議員、民生委員・児童委員、主任児童委員、少年補導委員、保護司公民館長、高砂会、更生保護女性会委員
三谷祭保存会会長、各区保存会会長
小中学校PTA役員、PTA実行委員
子ども会役員、交通指導員、保育園園長
児童館長、地域学校協働活動推進員、小中高等学校関係者（計94名）



- [来賓] 蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏
蒲郡警察署生活安全課長 浅井 智彦 氏

(4)内 容

避難所開設担当職員紹介（紙面での紹介のみ）

市民憲章唱和（三谷中学校PTA副会長 照井 晴美 氏）

① 開会のことば（総代会副会長 廣中 達憲 氏）

② 三谷地区青少年健全育成協議会規約および役員の承認
会長 西区総代 平野 良則 氏 はじめ17名の承認

③ あいさつ

- 三谷地区青少年健全育成協議会会長 平野 良則 氏
- 蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏
- 蒲郡警察署生活安全課長 浅井 智彦 氏
- 学校代表 三谷中学校長 尾崎 佳孝 氏

- ④ 本年度の活動
○ テーマとねらい

テ ー マ「地域ぐるみで守ろう、育てよう、すこやか三谷っ子」
重点目標 ・家庭、地域、学校、関係諸機関の連携を密にして、地域ぐるみで三谷地区の青少年を見守り、育てる活動を推進する。
・地域ふれあい活動を通して、地域の教育力を高める。
・あいさつ運動や日常の声かけを通して、青少年の健全育成と明るい地域社会を築く。

○活動計画

- ・あいさつ運動
- ・三谷ふれあいフェスティバル…11月30日（日）に実施

⑤ 各区分科会と報告

⑥ 閉会のことば （主任児童委員 石井 佳子 氏）

あいさつ運動では、本年度もPTA役員を中心に、学校単位で計画される計19回の活動に加え、あいさつを通して日常的に子どもたちとふれあっていくため、大人から地域の子どもたちにあいさつをするよう心がけた。平日の登下校時の見守りとともに、祭礼時の見守りや声かけを行った。あいさつ運動同様、今後も地域住民に重点目標の周知を図り、活動に対する理解を得る必要があると考える。地域全体で子どもたちを見守っていく姿勢を大切にしていきたい。

【各区分科会】

各区総代を中心に分科会を行い、情報交換や地区の子どもたちの安全に関する相談を行った。各区で挙げられた主な意見は以下の通り。

東区：海で遊ぶ子が、保護者がいなくて子どもだけで遊んでいるので少し心配である。

自転車のルールが厳しくなっているのに、指導されていない。

松区：やんちゃな子が多い。小学校低学年の子の飛び出しがあり危ない。車の運転も荒い。

上区：三谷の子どもたちはあいさつが出来ていてとてもすばらしい。非行もなくこのままの状態であってほしい。

中区：小学生から中学生、水産高校生まで、マナーがよい。

北区：ふなまち公園の樹木が危ないので、伐採してほしい。

西区：子どもがおとなしくなっており、問題行動が減っている。昔と比べて金髪の生徒・児童がいなくなった。



<分科会>

3 地域ふれあい活動

日 時：令和7年11月30日(日)9時00分～11時40分

会 場：三谷小学校運動場 【参加者300名】

テーマ：「三谷ふれあいフェスティバル」

三谷地区のふれあい活動は、平成30年度より「三谷ふれあいフェスティバル」として、6区合同で行っている。総代会を中心に、公民館、高砂会、小・中学校PTA、子ども会、三谷祭保存会、スポーツ推進委員、消防団から構成される実行委員で企画や準備を進めた。

内容としては、例年通り、子どもからお年寄りまで参加することのできる町民運動会を軸にしたふれあい活動である。また、消防車への乗車体験など、防災に関する取り組みもこれまで行われており、今回も、子どもを対象に消防車との写真撮影が企画されている。

本年度も、コミュニティースクールを意識した地域とともに生きる子どもたちの育成をねらい、小中学生に運営のお手伝いをするボランティアを募集するという取り組みを行った。

10月中旬に、「ふれあい活動説明会」として、総代会副会長、ふれあい活動実行委員の久野様に来校していただき、ふれあい活動の意義や具体的な競技・ボランティアの仕事内容を説明していただく機会を設けた。実演を交えて生徒たちにわかりやすく説明して頂き、生徒たちのふれあい活動への関心を高めた。

生徒たちへの案内により、小学生20名、中学生20名がボランティア参加の希望を出し、さまざまな形で運営のお手伝いをするようになった。



《プログラム》

○各地区で集まって三谷小学校に向かう。
(常会長が同行する。)

○午前8時30分までに三谷小学校運動場に集合する。

No	演 技 種 目	予定時刻	参加者
1	開会式	9:00	全員(トラックの中)
2	三谷町民ラジオ体操	9:10	全員(")
3	げんきにかけっこヨーイドン	9:15	保育園児・幼稚園児 (オープン参加OK)
4	ボールを落とせ落とせ	9:35	中学生 (オープン参加OK)
5	紅白玉入れ	9:50	60歳以上の方 (オープン参加OK)
6	移動紅白玉入れ	10:05	小学生 (オープン参加OK)
7	綱引き 第1部	10:20	中学生 (オープン参加OK)
8	綱引き 第2部	10:35	一般の方(高校生～60歳以下の人) (オープン参加OK)
9	消防団種目	10:50	消防団第二分団
10	各区対抗リレー	11:10	各区1チーム(6区対抗リレー)
11	閉会式	11:30	全員(トラック周りの各区の場所)

<プログラム>



<総代会による中学生へのプレゼン>



<放送を担当する中学生>

当日は昨年度同様の 300 人以上の住民が集まり、園児たちのかけっこ、玉入れや綱引き、リレーなど、子どもから大人までさまざまな世代が競技に参加する姿が見られた。また、ボランティアだけでなく、競技に参加するために集まった小中学生の数も多く、「自分たちの力で三谷の町を盛り上げよう」という心意気を感じられた。年齢の垣根を越えてつながることができた。そして、彼らを支える大人たちの温かさ、団結力の強さも感じられ、三谷地区のつながりの強さをあらためて感じる事ができた。消防団の方が主催した消防車の乗車体験や記念撮影会では園児・小学生・中学生が集まり、放水する方法やサイレンを鳴らすボタン操作などの説明を興味深く聞いていた。最後の各区対抗リレーでは地区を代表する青年が集まり、力強い走りを見せて会を締めくくった。青年たちの姿を見て小学生、中学生があこがれの念をもったのではないかと感じる。

今年度は児童生徒の参加数がやや減少した。部活動の活動時間が短縮したことで、クラブチームに参加する児童生徒が増え、参加が出来ないケースが多くなったためである。来年度にむけて、より魅力のあるふれあい活動は何なのかを考えていくことが大切である。



<ボールを落とせ落とせ競技>



<中学生同士で争う綱引き>



<移動紅白玉入れ>



<綱引きの綱を調整する中学生>



<玉入れの数を数える中学生>

3 蒲 郡 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 健全育成協議会準備会(学区総代会)

- ①日 時 令和7年4月10日(木)10時00分～
- ②場 所 蒲郡中学校 図書室
- ③協議事項
 - ・前年度の協力費決算報告について
 - ・前年度の協議会・地域ふれあい活動の活動報告について
 - ・本年度の協力費予算案について
 - ・本年度の活動方針・地域ふれあい活動に向けて
 - ・本年度の協議会次第について
- ④出席者 学区各総代、各小中学校の校長・教頭・蒲郡中校務主任(計20人)

(2) 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会

- ①日 時 令和7年5月8日(木)10時00分～
- ②場 所 蒲郡中学校 体育館
- ③内 容
 - a 開会の言葉 蒲郡中学校PTA会長 鈴木 崇夫 氏
 - b 市民憲章唱和 蒲郡中学校PTA副会長 小田 恵美 氏
 - c 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会会長あいさつ
学区青少年健全育成協議会会長 横田 朝一 氏
 - d 来賓あいさつ 蒲郡市青少年センター所長代理 平松美由紀 氏
蒲郡警察署生活安全課長 浅井 智彦 氏
 - e 協議事項
 - ア 令和6年度 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会活動報告ならび決算報告
 - イ 令和7年度 蒲郡中学校区青少年健全育成協議会基本方針ならび予算案
 - ウ 小・中・高等学校における児童生徒の実態と生活指導上の諸問題について
 - エ 令和7年度 地域ふれあい活動について
 - ・本年度の活動方針ならび今後の予定
 - ・本年度の活動計画または実践報告(各地区総代・公民館館長)
 - f 話し合い(意見交流)
 - ・最近の子どもたちの様子について
 - ・「あいさつができる子を育てるために」
それぞれの立場で何ができるか、アイデアを出しあう
 - g 閉会のことば 蒲郡中学校長 伊藤 孝明 氏
- ④参加者

市議会議員、人権擁護委員、各区総代、保護司、公民館館長・主事
民生委員・児童委員、少年補導委員、更生保護女性会、小中PTA役員
保育園園長、地域学校協働活動推進員、各小中高・学校関係者(計88名)

会の冒頭で令和7年度の蒲郡中学校区健全育成協議会会長に、府相区の横山朝一氏が選出された。協議では、生きる力を身につけた子どもを育成していくために、青少年を健全に導くことを主眼とし、家庭・学校・地域の大人が、

- ・地域の子どもたちを知る
- ・地域の子どもたちとあいさつをする
- ・地域の子どもたちのよい点をほめ、よくない点は注意する
- ・地域を知らせ、自分の故郷に愛着を感じさせる
- ・地域で子どもたちを守る

とする活動方針が承認された。協議会の後半は、グループで話し合う時間を設けた。まず「最近の子どもたちの様子」について、よい点と気になる点について意見を出しあった。次に「あいさつができる子を育てるために」というテーマで、それぞれの立場でできることについて、アイデアを出しあった。あいさつについては、以下のような意見が出された。

- 関係づくり
- ・登下校時の見守り、あいさつなど、大人から声をかけるようにしていく
 - ・高齢者など、幅広い世代でのつながりがもてるようにする
 - ・ほめる関係だけでなく、注意できたり子どもに教えてもらえたりする関係づくり
 - ・子どもの言動の背景を探る
- 場づくり
- ・公民館の活用（交流の場として、子どもの遊び場として、学習の場として）
 - ・お祭りや地域の行事をより活性化する
 - ・大人も子どももより積極的に参加できるふれあい活動
 - ・SNSの使い方等、情報モラルについて考える場を設ける

どのグループでも人と人がつながるあたたかい学区をめざし、子どもと地域のつながりの必要性を感じながら意見交流が行われた。蒲郡中学校区青少年健全育成協議会に参加していただいたすべての方が、学区の子どもを育てるために、自分ができることは何かを真剣に考えていただく貴重な機会となった。また、昨年度から始めたあいさつバッジも好評との意見を多くいただいた。今後も活用していきたい。

2 「地域ふれあい活動」日程

地区名	日 時	場 所	活 動 内 容
蒲郡西	5/11(日)	蒲郡公民館～豊岡湖公園	健康づくり「レク・歩こう大会」
港区	5/25(日)	港町西公園	駅・公園の周辺の清掃活動
小江町・港区	8/5(火)、6(水)	勤労福祉会館	盆踊り大会
府相区	9/28(日)	竹島小学校・府相公民館	ニュースポーツ大会
豊岡町1・2区 五井町 平田町	10/26(日)	蒲郡東部小学校	東部地区民体育祭 ※雨天のため中止
蒲郡東・新井形町	11/2(日)	各避難場所 ～蒲郡中体育館	自主防災訓練
三谷西	11/30(日)	神明神社 ～三谷小学校運動場	自主防災訓練 三谷ふれあいフェスティバル

3 各地区「地域ふれあい活動」

蒲 郡 西



日 時 5月11日(日)9時00分～12時00分
会 場 蒲郡公民館～豊岡湖公園【参加者 約25名】
テーマ 「ふれあい互いに知ろう 地元の良さ」

本年度も健康づくり「レク・歩こう大会」が行われた。久しぶりに豊岡湖公園を目的地とした歩け歩け大会となった。朝9時に集合した参加者は、蒲郡公民館を出発し、蒲郡消防署、八柱神社を經由して、最終目的地である豊岡湖公園をめざした。豊岡湖公園では、

<豊岡湖公園をバックに記念撮影> 参加者全員で記念撮影をした。豊岡湖公園をあとにし、東部公民館で休憩をしながら蒲郡公民館への帰路についた。晴天にも恵まれ、初夏のさわやかな風にあたりながら、全長約8kmのコースを参加者の親睦を深めながら歩くことができた。

港 区

日 時 5月25日(日)9時00分～10時00分
会 場 港町西公園【参加者 約30名】
テーマ 「駅周辺・公園内の清掃美化」

本年度も駅周辺・公園内の清掃活動を行った。ごみ拾いの活動中に、これまで交流のなかった地域の方から「テストがんばってね」などの言葉をかけていただき、生徒は、地域とのつながりを再発見し、温かさを感じることができた。参加した生徒からは「思っていたよりもごみが少なく、蒲郡はきれいな町だと、うれしくなった」という声が上がった。地域の方々に見守られてい



<蒲郡駅周辺の清掃をする児童>

るということを実感するとともに、こうした日々の地道な活動により、駅周辺の環境が美しく保たれていることに改めて気づくことができる機会となった。

小江町・港区

日 時 8月5日(火)6日(水)
会 場 勤労福祉会館【参加者約300名】
テーマ 「盆踊り大会」

当日はたくさんの地域の人たちが集まり、大変盛り上がった。やぐらを囲み盆踊りを楽しむ地域の人たち、風船つりや輪投げを楽しむ幼児や小学生の姿が見られた。中学生はボランティアとして参加し、いっしょに盆踊りをしたり、腰を落として小さな子と視線を合わせながら接客したりして、会の運営・進行を支えていた。人と人がつながり、会場全体にたくさんの笑顔があふれる盆踊り大会となった。



<小さな子とふれあう中学生>

東 部 地 区
豊岡第一、豊岡第二、五井、平田

日 時 10月26日(日) 雨天のため中止
会 場 蒲郡東部小学校運動場
テーマ「東部地区民体育祭」【参加者予定数 約440名】
企画委員会 7月6日(日)
打合会 10月18日(土)



<体育祭に向けて準備をする>

うことを知ることができた。来年度は開催できることを願っている。

本年度は残念ながら、雨天のため中止となってしまったが、地区体育祭に向けて、地域の方、小・中学生が東部公民館に集まり、準備を進めた。中学生種目である障害物リレーは、中学生が主体的に障害物の内容を話し合い、決定していった。

準備を通して東部地区の人と人とのつながりの強さを感じるとともに、地区の行事は多くの人々の支えがあるからこそ楽しいものとなっているとい

府 相 区

日 時 9月28日(日) 9時00分 ~ 12時30分
会 場 竹島小学校・府相公民館【参加者 約300名】
テーマ 「府相区ニュースポーツ大会」

府相区ニュースポーツ大会に変わり、2年目。子どもから大人まで参加できるダーツなど、幅広い世代が参加できる活動となった。当日は、幼児はミニモルックやミニラダーゲッター、ストライク9、小中学生はモルック、大人はワンバウンドふらばーるバレーボール等に参加した。どの競技でも、チームで声をかけあいながら、笑顔で楽しむ姿が見られた。ボランティアとして小学生のモルックの審判をした中学生は、はじめてのモルックに戸惑う子にも優しく声をかけ、スムーズに競技を進めた。幼児競技では、慣れない環境に表情が硬い幼児に、中学生が笑顔で接することで、緊張を和らげる場面が見られた。参加した人全員が笑顔で声をかけあい、助け合いながら会を成功させることができた。府相区の結束の強さと温かさを強く感じる活動となった。



<ミニモルックを世話する>

わたしは、公民館で園児の子に遊び方を説明する担当でした。いつも話している中学生と違って園児には伝わらないことばがいっぱいあったので、話し方に気をつけました。小さい子から大人まで全力で楽しんでいるのを見て、また次も参加したいなと思いました。去年までは小学生として遊ぶ側になって参加したけど、今年はお手伝い側で参加して、最初から最後までエンジョイできました。(中1女子)

蒲郡東・新井形町

日時 11月2日(日) 9時00分～11時30分
会場 各避難場所→蒲郡中学校【参加者 約120名】
テーマ 「自主防災訓練」

本年度も、昨年度に引き続き自主防災訓練を行った。地域の各避難場所に集合をし、蒲郡中学校まで安全経路を確認しながら避難をした。中学生は、会の司会進行、非常食づくり等のお手伝いをした。また、蒲郡消防署と自衛隊豊川駐屯地の方にもお越しいただき、それぞれAED操作、自衛隊広報車の紹介と説明をしていただいた。防災倉庫内の簡易トイレ、パーテーションの組み立ても行い、いざというときの行動について体験的に学ぶことができた。



<非常食を配る>

非常食の準備をして、食事を届けにまわると「もらっていいですか?」「ありがとうございます」など声をかけてもらって、心が温かくなりました。中学生一人一人がやるべきことを自分からやっていたところがとてもよいことだと感じました。ぼくは人前に出ることがあまり好きではないし、苦手です。でももし災害などが起きてしまったときには、人前に出ないといけないこともあるかもしれません。もしそうなったときのために、苦手を得意にしていきたいと思いました。(中2男子)

三谷西区

日時 11月30日(日) 7時50分～11時30分
会場 神明神社～三谷小学校【参加者 約300名】
テーマ 「三谷ふれあいフェスティバル」

昨年度と同様、神明神社に集合し、三谷小学校まで安全経路を確認しながら避難をした。その後「三谷ふれあいフェスティバル」が開催された。開会式での各区の関(とき)の声から始まり、三谷町民の息の合ったラジオ体操、競技は幼児かけっこ、玉入れ、綱引き、区対抗リレーと、幅広い世代が競技に参加した。ほとんどの競技がオープン参加のため、各競技ともたくさんの方が参加することができた。即席のチームにもかかわらず、参加したみんなが打ち解けられる雰囲気をつくり出せる三谷地区の団結力を感じた。



<各区かけ声で気合いを入れる>

4 まとめ

地域の皆様には多くの労力を費やし、ご協力いただいたことに深く感謝する。子どもたちは、人とのつながりや自分たちの地域のよさを改めて感じる事ができた。来年度も地域の皆様とともに、蒲郡の未来を担う子どもたちを育てる活動をさらに充実させていきたいと思う。

4 中 部 地 区

1 中部中学校区青少年健全育成協議会

(1) 日 時 令和7年5月12日(月) 9時30分～11時00分

(2) 場 所 中部中学校 体育館

(3) 参加者<68名>

学区総代、民生委員・児童委員、主任児童委員、保護司、更生保護女性会、少年補導委員、人権擁護委員、公民館館長、地域学校協働活動推進員、PTA会長、PTA関係部長、子ども会会長、学校長、校務主任、中部中生徒指導主事



(4) 内 容

<全体協議会の様子>

- | | |
|-------------------------|---|
| ① 市民憲章唱和 | (先唱 蒲郡北部小学校 校務主任) |
| ② 開会の言葉 | |
| ③ 学区校長あいさつ | (中部中学校長) |
| ④ 令和7年度協議会会長、副会長の承認について | |
| ⑤ 協議会会長あいさつ | (水竹町総代 永井 久嗣 氏) |
| ⑥ 来賓あいさつ | (青少年センター所長 鈴木 洋 氏)
(蒲郡警察署生活安全課長 浅井 智彦 氏) |
| ⑦ 各学校の様子について | (各小学校校務主任・中部中生徒指導主事) |
| ⑧ 全体協議 | ・スローガンの決定
・運営委員の選出 |
| ⑨ 地区協議 | ・中部中学区児童生徒の様子と生徒指導上の問題点
・令和7年度「地域ふれあい活動」について |

協議で出された意見の一部

①北部小区

- ・学区の子は、あいさつができる子が多い。
- ・自転車のスピードが速い子が気になる。話をすれば、素直に聞き入れる。
- ・中学生の交友関係が広がっている。他校の生徒を見かけるようになった。
- ・雑草が多いところがあるため、市に依頼していく。

②西部小区

- ・おとなしい子が多く、あいさつの声が小さい。
- ・公園が少ないため、学校が児童の遊び場になっている。
- ・統合後の西部小跡地の活用方法を検討していく。
- ・本年度もふれあい活動として西部地区体育祭を行っていく。

③中央小区

- ・あいさつがよくできるが、知らない人にはなかなかできない。
- ・学校の開門時間を早められないか。人通りの多い交差点で子どもが待っている。
- ・今年度の夏祭りは2日間開催で、15時～19時で考えている。

2 中部中学校区青少年健全育成協議会運営委員会(地域ふれあい活動反省会)

(1) 日 時 令和7年11月11日(火)9時30分～11時00分

(2) 場 所 中部中学校 響・図書室

(3) 参加者<36名>

学区市議会議員、学区総代、民生委員・児童委員代表、主任児童委員代表、保護司代表、更正保護女性会代表、公民館館長、地域学校協働活動推進員、PTA会長、PTA関係部長、子ども会会長、学校長、校務主任、中部中生徒指導主事



<地区協議会の様子>

(4) 内 容

- | | |
|--------------|--|
| ① 市民憲章唱和 | (先唱 中央小学校 校務主任) |
| ② 協議会会長あいさつ | (水竹町総代 永井 久嗣 氏) |
| ③ 来賓あいさつ | (青少年センター所長 鈴木 洋 氏) |
| ④ 各学校の様子について | (各小学校校務主任・中部中生徒指導主事) |
| ⑤ 協議 | ・中部中学区児童生徒の様子と生徒指導上の問題点
・令和7年度「地域ふれあい活動」の反省 |

協議で出された意見の一部

①北部小区

- ・自転車で道幅いっぱい広がって通る子も見なくなった。
- ・水竹公園のスポーツウォール利用で大きな音が出る。東側の家には、野球ボールがよく当たる。現在のルールを変更して、利用時間を8時から20時にしてはどうか。
- ・フィールド駐車場を横切る自転車のスピードが速くて危険を感じる。
- ・ふれあい活動は、中学生ボランティアの動きがとてもよかった。
- ・夏祭りはかなり暑かった。来年度は行う時期を検討していく。

②西部小区

- ・野犬やいのししによるミカンの被害がでている。
- ・新しい学校の通学路について、中学生と小学生が同じ道を通るところが過密になり、安全面が心配。グリーンベルトを増やしてほしい。
- ・地区体育祭は中学生が運営でも競技でも戦力となっていて素晴らしい。
- ・令和8年度の地区体育祭は行う予定だが、令和9年度については未定。公民館行事についても、子どもたちの集め方が難しくなる。

③中央小区

- ・朝、狭い歩道で信号待ちをしている子どもたちが危なくて気になる。
- ・地区の子どもたちは、ごりやく市など行事によく参加している。
- ・休日などに、横断歩道を渡らない子を見かける。特に、精文館駐車場南側から神ノ倉公園に向かう道は、斜め横断をする子が多い。
- ・ふれあい活動は例年以上ににぎわい、若い家族が多く参加していた。
- ・清掃活動が雨天のために中止となったが、そのことを知らずに中央小に来た人がいた。中止の際の連絡の仕方や、お金の使い道について考える必要がある。

3 各地区のふれあい活動

神ノ郷町総代区

日時 5月18日(日) 12時45分～15時30分
会場 蒲郡西部小学校運動場【参加者約300名】
テーマ 「西部地区体育祭」

西部学区在住の児童生徒が選手として出場したり、中学生は競技役員として体育祭の運営に参加したりした。借り物競争や玉入れ、パン食い競争など、幼児から高齢者の方まで幅広い年代が参加し、たくさんの笑顔が見られた。字別の種目では、勝利のために大人も子どもも全力をつくして戦い、地域の交流を深めるよい機会となった。

中学生として3年間参加してきて、とても楽しく参加できました。西部小のふれあい活動は地域の人たちと交流ができ、よい思い出になりました。自分は運動が苦手だけど、このふれあい活動では、体力や年齢など関係なく、誰でも楽しめると思いました。(中3女子)

今年は、選手だけでなく、係の一員としても参加しました。とても出番が多く大変でしたが、地域の役に立つことができてよかったです。来年も参加したいと思いました。(中1男子)



<西部地区体育祭>

坂本町総代区

日時 6月1日(日) 13時30分～15時30分
会場 中央公園グラウンド【参加者約60名】
テーマ 「グラウンドゴルフ大会」

中央公園のグラウンドで行われたグラウンドゴルフ大会。4～5人のグループで9ホールをまわったり、ニアピン対決を行ったりした。今年はグラウンド外の林にもコースがつくられ、和気あいあいとした中で楽しくプレーする姿が見られた。地域の方々と小中学生の貴重な交流の場となった。

地域の方とふれあう大切さを改めて感じた1日でした。何気ないあいさつや、上手なショットがでたときの歓声に、坂本という地域の温かさがあふれていました。私はこのふれあい活動が大好きです。グラウンドゴルフは、中3となる今回が区切りでした。2位という悔しい結果以上に楽しむことができました。これからも、地域の人と関わることで得られる元気を大事にしていきたいです。目指すは、笑顔で多くの人とあいさつ！(中3女子)



<グラウンドゴルフ>

中央小学区
吉光・栄町・蒲形・小江
蒲郡西・宮成 総代区

日 時 8月1日(金)・2日(土) 15時00分～21時00分
会 場 中央小学校グラウンド【参加者約500名】
テーマ 「夏祭り」

2日間にわたって中央小学校運動場にて開催された。本年度はキッチンカーが入った他、キッズダンスや和太鼓、ファイヤーショーなどたくさんのイベントが催された。他地区からもたくさんの親子連れが参加し、にぎわった。地区の「ちゃらぼこ」発表やお菓子投げなど、子どもたちが楽しく参加できるように工夫して運営されていた。

お祭りには小さい子からお年寄りまで、幅広い世代の人が来ていました。出店しているお店も、普段目にする地域のお店があり、優しく声をかけてくれました。今まで話したことのなかった地域の方とも交流することができたので、これからも積極的に地域の活動に参加したいと思いました。(中2女子)



<夏祭り>

水竹・清田総代区

日 時 8月2日(日) 18時00分～19時00分
会 場 中部中学校他【参加者約150名】
テーマ 「夏祭り」

例年は防災訓練を行っていたが、本年度は北部公民館の夏祭りに合わせてふれあい活動を行った。中学生ボランティアが中心となり、ラダーゲッターやビンゴ大会などのゲームを行った。地域の方や子どもたちが多数参加し、みんなで楽しむことができた。

小さい子から高齢者の方まで、幅広い年代の人たちが来てくださり、ビンゴやラダーゲッターなどで多くの笑顔が見られました。来年もボランティアとしてもお客さんとしても参加したいです。(中1女子)

今年初めてボランティアとして参加しました。みんなの笑顔を見て、「ボランティアやってよかった」とやりがいを感じました。(中2女子)



<夏祭り>

中央小学区
吉光・栄町・蒲形・小江
蒲郡西・宮成 総代区

日 時 10月4日(日) 8時00分～9時00分
会 場 中央小学校周辺【雨天のため中止】
テーマ 「草刈り・ごみ拾い」

今年は残念ながら雨天のため中止となった。例年、多くの地域の方々や児童生徒が協力して、中央小周りの雑草をぬいたり、落合川沿いの竹を捨てたりして、地域貢献している。



<草取り(昨年度)>

5 塩津地区

本年度の塩津地区青少年健全育成協議会のテーマを「～みんなして 声かけあって 育てよう～ 市民ぐるみの『青少年健全育成地域活動』」とし、日常的な青少年への声かけ運動や地域の見回りなどに取り組んだ。

本年度もすべての地区でふれあい活動を行うことができた。それぞれの地区で地域の方々と小中学生との交流が見られ、地域の健全育成活動を盛り上げることができた。

1 第1回塩津地区青少年健全育成協議会

(1) 日 時 令和7年5月10日(土) 13時30分～15時00分

(2) 場 所 塩津中学校 体育館他

(3) 内 容

○市民憲章唱和・塩津中PTA副会長 岩瀬 祐典 氏

○あいさつ ・塩津地区健全育成協議会会長 榑原 関保 氏

・蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏

・蒲郡市役所交通防犯課長 磯貝 友宏 氏

・蒲郡市議会議員 新實 祥吾 氏

・蒲郡市議会議員 千賀 充能 氏

○情報交換 ・塩津小学校の様子 小田 大悟 氏

・塩津中学校の様子 藤田 正和 氏

○協 議

① 塩津地区青少年健全育成協議会規約について

② 地区協議会【進行 地区代表】

・自己紹介 ・最近の児童・生徒の姿

・問題になる遊び場・危険個所 ・地域ふれあい活動

③ 全体協議会

・各地区協議会の発表 ・全体質疑

○閉会あいさつ・塩津公民館長 牧野 満文 氏

2 第2回塩津地区青少年健全育成協議会

(1) 日 時 令和7年11月14日(金) 13時30分～15時30分

(2) 場 所 塩津中学校 体育館

(3) 内 容

○市民憲章唱和・塩津小PTA副会長 福井 千恵 氏

○あいさつ ・塩津地区健全育成協議会会長 榑原 関保 氏

・蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏

- ・蒲郡市役所交通防犯課長 磯 貝 友 宏 氏
- ・蒲郡市議会議員 千 賀 充 能 氏
- 情報交換 ・蒲郡警察署生活安全課長 浅 井 智 彦 氏
- ・塩津中学校の様子 藤 田 正 和 氏
- ・塩津小学校の様子 小 田 大 悟 氏

○協 議

① 地区協議会【進行 地区代表】

- ・自己紹介
- ・最近の児童・生徒の姿
- ・問題になる遊び場・危険箇所・地域ふれあい活動

② 全体協議会

- ・各地区協議会の発表
- ・全体質疑

○閉会あいさつ・塩津公民館長

牧 野 満 文 氏

【第1回参加者（81名） 第2回参加者（63名）】

各区総代、副総代、地区市議会議員、地区常会長、蒲郡警察署生活安全課長
 蒲郡市役所交通防犯課長、人権擁護委員、更生保護女性会、少年補導委員
 保護司、民生委員・児童委員、主任児童委員、各区祭り保存会、健全育成担当区議員
 塩津公民館長、塩津公民館主事、塩津保育園長、鹿島こども園長
 しおつ児童館長、子ども会役員、小中学校PTA役員、地域学校協働活動推進員
 小中学校関係者

【最近の児童・生徒の姿】

- ・競艇場の新しい施設（グリーン）を中学生が利用していてよいと思う。
- ・児童公園や運動広場で元気に遊んでいる。
- ・児童公園や下校等で会うと元気にあいさつしてくれる。
- ・外で遊ぶことが少ない。家で遊んでいる。
- ・小学生の登校で上級生が下級生の手を引いて歩いていてよい。
- ・以前より少なくなったが、中学生の自転車の乗り方が気になる。
- ・今後の懸念として、将来的に子どもの数が減少した場合、現在ある2つの通学団を統一する必要があるのではないかと思う。



<地区協議会>



<全体協議会>

3 地域ふれあい活動

西 迫

日 時 7月23日(水) 17時00分～19時00分
会 場 西福寺 【参加者 39名】
テーマ ふれあい夏祭り

今年度も西福寺をお借りして夏祭りを開催した。今年は輪投げ、射的を準備し、同時にくじを行い、水鉄砲などの景品も用意した。また、軽食としてフランクフルト、からあげ、たこ焼きを用意した。中学生のみんなが輪投げも射的も並べてくれて、小学生の子の対応を行った。西迫は本当に小中学生の仲がいいと思った。



【ふれあい活動感想文より】

私はこのふれあい夏祭りが大好きです。中学生が輪投げや射的などを手伝ってくれたり、一緒に遊んでくれたりしました。私はそれがとても嬉しかったです。小中学生は18時から19時の1時間は水鉄砲で楽しくびしょびしょになりながら遊びました。水鉄砲が終わったら「今年もふれあい活動が終わっちゃうな」と感じます。3時間、楽しかったけどあっという間でした。(小6 女子)

今年の夏はとても暑くて熱中症にならないかと心配でした。ですが、地域の人々と暑さに耐え、射的や輪投げをみんなで楽しめました。唐揚げやたこ焼きも食べて元気がいっぱいです！終わりが近づいた時には「まだやりたい」と小学生の声も聞こえてきました。小学生も中学生も親たちもみんなで楽しめていたので、地域の人々とより仲良くなれたと思います。(中3 男子)



<活動の様子>

柏 原

日 時 6月8日(日) 9時00分～11時15分
会 場 柏原町公民館・運動広場 【参加者 64名】
テーマ 『災害に負けないための防災教室』&『みんなでチャレンジGG』

市危機管理課の出前講座により、昨年の竹谷町大久古の土砂災害の詳細な報告をして頂いた。ハザードマップが全てではないこと、色々なパターンを想定することの提案を頂いた。実際の消火器を使用し、代表に実演をしてもらいました。消火剤の勢いに驚く参加者もいたが、状況にどう対応できるのかを考える体験となった。



【ふれあい活動感想文より】

この活動を通して分かったことは土砂災害が起きる前に何をすればよいかということ。去年の8月、竹谷で3名が亡くなり、1名が重症、1名が軽傷という大きな土砂ずれがありました。身近でそのようなことが起こったこともあり、今日の防災教室では、「携帯電話をいつも近くに置いておく」ことでどのような状況でも連絡がとれることや、携帯電話の充電をしておくことの大切さを知りました。今日から常に意識していこうと思いました。(小6 男子)

今回、消防士さんの話を聞いて、もしもの時に冷静に判断できるようになったと思います。いざという時に、塩津中学校以外にも避難する場所があることがわかりました。消火訓練では、自分は体験できなかったですが、消火器の扱い方がわかりました。いざというときには慌てずに落ち着いて、自分もチャレンジしてみたいです。グラウンドゴルフでは地域のおじいさんやおばあさんと交流でき、つながりが深まりました。(中3 男子)



<活動の様子>

奥 林

日 時 6月1日(日) 10時00分～11時30分
会 場 奥林公民館 【参加者 40名】
テーマ 応急手当入門と消火訓練

蒲郡市なんでも出前講座を活用し、心肺蘇生及びAEDの取り扱いを学習した。参加者が2つの班に分かれ、それぞれ消防の方が講師となり、人形を使った心肺蘇生の訓練とAEDの機器を用いて練習した。出前講座終了後、水消火器を操作し、標的に向け放水する初期消火も体験した。



【ふれあい活動感想文より】

今消防隊員のみなさんから応急手当のやり方を学びました。AEDの使い方や消火訓練などがありましたが、中でもたいへんだったのは心肺蘇生法でした。やってみるとあせってしまい、手順を間違えてしまいました。心臓マッサージを繰り返す力も必要だったので、本当に大変でした。心臓マッサージを行うときは、あばら骨が折れたとしてもそのまま続けるということを知り、本当に驚いたけど、命を助けることが何より大切だということが分かりました。ぼくもいざというときには、ちゃんと動けるようにこれからも繰り返し学んでいきたいです。(小6 男子)

奥林で毎年行われている市消防本部による『応急手当入門』と水消火器による消火訓練に参加して3回目でしたが、何回もやらないと体が覚えることは難しいと感じました。AEDの使い方も消火訓練もそれぞれ何かしらの目的があることを頭において参加しないと、記憶に残らなくなってしまうのではないかと思います。例えば、AEDや心肺蘇生法までの手順で、慌てず冷静になって行うことで、大勢の人と連携できるようにすることなどの大事な点です。胸骨圧迫は止めずにずっと行い続けるのに、すごく体力が必要だと思いました。今回のふれあい活動に参加したことで、昨年行ったことをもう一度思い出し、記憶に定着させることができたとても貴重な時間になりました。

(中3 男子)



<活動の様子>

竹谷町区

日 時 8月13日(水) 19時00分～20時30分
8月14日(木) 19時00分～20時30分
会 場 油井児童遊園地 【参加者 593名】
テーマ 地域の住民が行事に参加して触れ合うことにより、コミュニティを高める

この活動で、「盆踊り」や「おもてなし接待」を通して、地域の子供と大人がふれあい住民相互の親睦を図り、今回のテーマのコミュニティを高めることができた。中学生には模擬店を中心に、小学生には人数のカウントと記念品渡しを手伝ってもらった。天候にも恵まれ、にぎやかなふれあい盆踊り大会となった。



【ふれあい活動感想文より】

今年も中学生のお兄さんやお姉さんがだんごやポップコーンやかき氷を作って、配っていました。ぼくの姉もがんばっていました。夜なのに、友達といられることがとても楽しかったです。1日だけで250名も集まったそうです。地域みんながわいわいにぎやかでうれしかったです。来年も楽しみです。(小6 男子)

私たち中学生は、焼き団子・ポップコーン・かき氷などを地域の方と一緒に作り、祭りに来た人達に提供しました。作っている時に、地域の方と楽しくお話をしたり、作り方を教わったりして、とても楽しく作ることができました。食べ物渡すときに「どれにする?」「何味がいい?」等、普段あまり関われない歳の子と関わってよかったです。渡した時の「ありがとう」がとても嬉しかったです。(中3 女子)



<活動の様子>

鹿島東

日 時 10月18日(土) 9時30分～12時30分

会 場 集会場 【参加者 152名】

テーマ 秋祭礼に伴う団地住民との親睦

祭礼のイベントとして、みたらし団子を焼き、販売をした。今年は小学生と中学生に声をかけて、ボランティアとして働いてもらった。普段なかなか顔を合わせることがない年代の人同士の交流ができた。お惣菜を販売したり、ジュースをふるまったりと参加者が楽しめるイベントにすることができた。



【ふれあい活動感想文より】

みたらし団子を焼いたり、パックに詰めて売ったりして、とても楽しかったです。がんばって作ったみたらし団子を笑顔で買ってくれたり、たくさんの人たちが「おいしい」と言ってくれたりしたのが、とてもうれしかったです。このような体験はなかなかできないので、次の機会があったら、またやってみたいです。(小6 女子)

はじめに集会場に行き、自治会長に指示をもらい、団子につけるみたらしの準備などをしました。準備のとき、団子を焼いていると、軍手をしていても手が熱かったです。私が手伝っていたところは、焼けるのがすごく早く、団子にさしてある棒が焼けて折れてしまったりすることがあったので、プロの団子屋さんはずごいなと思いました。販売でも地域の人がたくさん買ってくれ、地域の人たちと関わるいい機会になりました。ふれあい活動を通して地域の方の温かみを知り楽しくできたので、また、このような機会があったらなるべく参加していきたいと思いました。(中3 女子)



<活動の様子>

松 田

日 時 8月10日(日) 17時30分～19時00分

会 場 松田公民館 【参加者 35名】

テーマ 納涼祭り

例年盆踊り前にミニ集会を行っていたが、今年は雨天のため、会場をスポーツ広場から公民館に変更し、盆踊りを翌日に延期した。風船釣り、輪投げ・お菓子の千本引きを開催し、楽しんだ。ただ、翌日の盆踊りは参加者が多くなかったため、来年は良い天気になることを期待したい。



【ふれあい活動感想文より】

子どもから大人まで、たくさんの方が集まっていて、みんなとても元気でした。輪投げや千本引きなど、小さい子たちも楽しめるゲームがあって、みんな喜んでよかったです。小さい子たちが笑顔で楽しそうにしているのを見ると、とてもほほえましかったです。(小6 女子)

お祭りではたくさんのゲームがあり、とても楽しい時間を過ごすことができました。特に印象に残ったのは、輪投げです。最初は全然欲しいものが取れなくて、とても難しかったけど、どんどんコツをつかんで最終的に自分の欲しいものが取れました。他のゲームでは自分の狙った景品はとることができなかったけど、とても楽しく良い思い出になりました。今回のお祭りを通して、地域の人ともたくさん交流できてよかったです。今までやったお祭りの中でも楽しく良い一日を過ごすことができましたと思います。(中1 女子)



<活動の様子>

鹿島南

日時 8月9日(土) 19時00分～21時15分
会場 鹿島児童公園【参加者 約270名】
テーマ 鹿島南常会 2025年度 盆踊り

6月より関係者による会議・打ち合わせを実施し、昨年の反省点と改善点を議論することで、よりよいイベントにステップアップさせるべく努力を重ねてきた。今年も「会場設営」「イベント内容の厳選」「事前準備」に少しずつの改善を図った。(焼き鳥台の追加、人員配置の見直し、投光器の追加設置等)年々増加している参加人員からその努力は認められ、評価されていると感じられる。



【ふれあい活動感想文より】

地域ふれあい活動を通して、屋台の食べ物がたくさんあったり、日本の伝統の盆踊りをみんなでなかよく踊ったりしていたので、あたたかくにぎやかな雰囲気でした。地域の方々との交流で、知らない人とも楽しく話したり、協力して運営したりして、地域の団結力がすごいと思いました。これからもこのような地域の祭りに参加し、地域の絆を深めたいと思いました。(小6 女子)

久しぶりに地域の人と交流ができる機会が、地域の人と話すことができるとても楽しかったです。地域の人たちから、焼き鳥を担当している子に声をかけたり、盆踊りで小さい子からお年寄りまでいたりして、それを見ても温かい気持ちになりました。自分たち中学生も含めて、いろいろな年代の人たちをつなぐような場所になっているんだと思いました。これからも続けていき、地域のいろいろな人との交流を深めていきたいと思いました。(中3 男子)



<活動の様子>

拾石

日時 8月12日(火) 19時00分～21時00分
会場 拾石町スポーツ広場【参加者 約500名】
テーマ 夏祭り納涼盆踊り大会

例年盆踊り大会の初日は青少年健全育成の日となっており、多くの小中学生が参加して、輪投げ、かき氷、ジュース等のお手伝いをして、地域の方とも活動を通して交流をすることができた。参加者も多く、楽しいひと時を過ごすことができた。



【ふれあい活動感想文より】

地域の方々が協力し合っていたのがすごく印象的でした。いろいろなものが無料で、子どもたちが舞台上で踊ることができるのも地域の方々のおかげだと思い、とてもうれしかったです。拾石は3日間あったので、長く楽しめました。来年も楽しみです。

(小6 男子)

屋台の運営は、かき氷の提供を行いました。去年までは、自分ももらう側だったから、正直簡単な仕事だと思っていたけれど、いざやってみると、人がどんどん来て、その中で急いで氷を盛ったりシロップをかける量を素早く調整したりしないといけないから、かなり大変だと思いました。こんな大変な仕事を毎年やっている役員の方には、感謝しなければいけないと思いました。(中3 男子)



<活動の様子>

川 東

日 時 8月12日(火) 18時00分～19時30分

会 場 川東児童遊び場 【参加者 約200名】

テーマ みんなで一緒に楽しく「ふれあい祭り」に参加しよう

「ふれあい祭り」の内容は「かき氷」「みたらし団子」「綿あめ」「輪投げ」「グラウンドゴルフホールインワン」「風船釣り」等の模擬店を行った。地域の小さなお子様から高齢者の方まで、世代を超えた幅広い年齢の方々が楽しんで参加できる内容となっており、地域のふれあいの和を深める中心的な行事となっている。大勢の中学生が、会場の準備、環境整備だけではなく、模擬店・ゲームコーナーでの来客対応、風船づくり等と大いに活躍してくれた。地元の人との交流ができることを喜ばしく感じた。



【ふれあい活動感想文より】

ぼくは川東に引っ越してきて、初めて盆踊りに行きました。かき氷やわたがしを食べたり、輪投げをやったりして、川東地区の方々と楽しく過ごすことができました。たくさんの方々がやさしく声をかけてくれて、川東に引っ越してきてよかったです。これからもずっとこの盆踊りが続くと良いと思いました。来年も参加したいです。(小6 男子)

午後4時に集合して、公園の刈った草を回収しました。祭りの前に公園がきれいになったのでよかったです。その後は、公民館内に入って水風船を作りました。作るのが難しかったですが、頑張りました。祭りが始まると本当に多くの子が手伝っていました。今年で最後のお手伝いでしたが、地域みんなのためにお手伝いできて良かったです。(中3 男子)



〈活動の様子〉

令和7年度塩津地区 地域ふれあい活動一覧予定(実施日順)

月日(曜) 時間	地区	内容	場所
6月1日(日) 10:00～11:30	奥林	応急手当入門と消火訓練 消防隊員によるAED、心肺蘇生など 訓練…消火器での初期消火体験	奥林公民館
6月8日(日) 9:00～11:30	柏原	『災害に負けないための防災教室』 & 『みんなでチャレンジGG』 ①蒲郡市出前講座 ・市危機管理課による防災講習及び避難実施 ②グラウンドゴルフ	柏原町公民館 柏原運動広場
7月23日(水) 17:00～19:00	西迫	ふれあい夏祭り	西福寺
8月9日(土) 19:00～21:00	鹿島南	盆踊り	鹿島児童公園
8月10日(日) 17:30～18:30 予備日(11・祝)	松田	ミニ集会(夏祭り)	松田スポーツ広場
8月12日(火) 18:00～19:30	川東	ふれあい屋台村&盆踊り大会 ・屋外での活動 ・中学生はテント立てなどの仕事をする	川東児童公園
8月12日(火)～14日(木) 19:00～21:00	拾石	夏祭り(輪投げなどの遊び、フランクフルト等、くじ引き)	拾石町 スポーツ広場
8月13日(水)～14日(木) 19:00～20:30	竹谷町 区	竹谷町区盆踊り大会 児童・生徒と大人たちとのふれあい盆踊り 中学生による団子焼き・かき氷などの接待	油井 児童遊園地
10月18日(土) 10:00～12:00	鹿島東	秋祭りのお手伝い ・みたらし団子を焼く・販売する	集会場

6 形 原 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 青少年健全育成協議会準備会

- ① 日 時 令和7年4月5日(土) 10時00分～
- ② 場 所 形原中学校 多目的室
- ③ 参加者 学区各総代、鹿島北常会長、鹿川町内会長
各小中学校の令和7年度PTA役員予定者(会長)
各小中学校の校長・校務主任 (計20名)
- ④ 協議事項
 - ・本年度の健全育成協議会の開催日時とテーマについて
 - ・本年度の活動方針、健全育成の今後について
 - ・地区ふれあい活動の運営について
→各地区に分かれてふれあい活動に決定
 - ・小中学校の状況報告について

(2) 青少年健全育成協議会全体会

- ① 日 時 令和7年5月10日(土) 10時00分～
- ② 場 所 形原中学校 剣道場
- ③ 参加者 学区各総代、鹿島北常会長、鹿川町内会長
民生委員・児童委員、主任児童委員、人権擁護委員
更生保護女性会、形原学区市議会議員
各小中学校の令和7年度PTA役員(会長)、地域学校協働活動推進
員、各小中学校の校長・校務主任(計65名)
 - ・開会の言葉 形原総代会副会長 近藤 吉一 氏
 - ・主催者あいさつ 形原総代会会長 與田 智昭 氏
 - ・来賓あいさつ 蒲郡警察署生活安全課長 浅井 智彦 氏
蒲郡市青少年センター所長 鈴木 洋 氏
- ④ 協議事項
 - ・各地区の特色を生かした活動を企画する
 - ・子どもからお年寄りまで参加できるような活動を企画する
 - ・形原地区は合同でふれあい活動を実施
 - コミュニティスクールについて 形原北小学校長 廣瀨 俊伸 氏
 - 令和6年度 地域安全・青少年健全育成市民大会 意見発表(紙上発表)
 - 報告(小中学校の現況報告) 形原小、形原北小、形原中
 - ・お礼のことば 形原小学校長 三浦 義広 氏
 - ・閉会のことば 形原総代会副会長 近藤 吉一 氏

2 令和7年度 形原地区「地域ふれあい活動」日程

地区名	月日（曜）	開始時刻	集合場所	テーマ 主な活動内容
鹿川	6/1（日）	9:00	鹿川地区全域	『鹿川地区530運動』 ・鹿川地区全域の530運動
鹿島北	8/2（土）	18:00	鹿島北集会所	『第18回鹿島北ふれあい盆祭り』 ・模擬店、ビンゴゲーム
1～8区 北浜区	8/24（日）	15:30	形原中学校体育館 中庭	『形原っ子フェスティバル』 ・各地区に分かれて出店 ・フードコーナー設置 ・有志によるステージ発表

3 地域ふれあい活動

鹿川

日時 6月1日（日） 9時00分～10時00分

会場 三田石材駐車場 【参加者 40名】

テーマ 「鹿川地区530運動」

① 開会式 あいさつ、自己紹介

② 活動内容

- ・鹿川信号～風越峠方面、郷中道路～鹿川公民館方面、前田橋～風越峠方面の3コースに別れて清掃活動を実施。

③ 閉会式 あいさつ

◆ 感想

この530運動に参加して、自分の住む地域にはたくさんのごみがあったんだと分かりました。ポイ捨てをした人はあまり気にしていないかもしれないけど、ごみ拾いをする人からしたら、すごく時間がかかるし疲れるため、ポイ捨ては周りの人にとってとても迷惑な行動だと改めて分かりました。実際にごみ拾いの活動に参加して、その大変さをとても実感できました。これから自分自身もポイ捨てしないように意識し、ごみ拾いをしてきている地域の人たちに感謝の気持ちを忘れないようにしたいです。 (中学2年)



〈清掃活動の様子〉

鹿島

日時 8月2日（土） 18時00分～20時30分

会場 鹿島北部集会所 【参加者 60名】

テーマ 「第18回鹿島北ふれあい盆踊り～みんないっしょ～」

- ① 開会式 あいさつ、説明
- ② 活動内容
 - ・ビンゴゲーム
 - ・模擬店
 (団子、輪投げ、ヨーヨーすくい等)
- ③ 閉会式 あいさつ



〈盆祭りの様子〉

◆ 感想

今年もたくさんの方が参加してくれました。景品がたくさんあったので、何回もチャレンジしてはうれしそうに景品をもらって行く小さな子を見て、手伝ってよかったなという気持ちになりました。

地域の人も優しくて、参加してくれた小さい子やおじいさん、おばあさんなどにお礼を言われると、とてもうれしい気持ちになりました。また来年も運営する側として参加して、地域の人を喜ばせたいなと思いました。 (中学1年)

形原1～8区 北浜区

日時 8月24日(日) 15時30分～19時30分

会場 形原中学校体育館 中庭 【参加者 約1,300名】

テーマ 「形原っ子フェスティバル」

- ① 開会式 あいさつ、説明
- ② 活動内容
 - ・ゲームコーナー
 - ヨーヨーすくい(1区) タブ・トスゲーム(2区)
 - ストライクアウトゲーム(3区) お菓子釣り(4区)
 - ヘルメットゲーム(5区) ダーツ(6区)
 - 輪投げ(7区) グラウンドゴルフ(8区) 射的(北浜区)
 - ・フードコーナー
 - たこ焼き お好み焼き フランクフルト フライドポテト
 - 焼きそば かき氷 飲み物 リンゴ飴 シフォンケーキ メロンパン
- ③ ステージパフォーマンス
- ④ 閉会式 あいさつ、総評



〈ヨーヨーすくいの様子〉



〈タブ・トスゲームの様子〉



〈ストライクアウトゲームの様子〉



〈お菓子釣りの様子〉



〈ヘルメットゲームの様子〉



〈ダーツの様子〉



〈輪投げの様子〉



〈グラウンドゴルフの様子〉



〈射的の様子〉



〈フードコーナー〉



〈キッチンカー〉



〈ステージパフォーマンス〉



〈形原小学校による
防災アレンジレシピコーナー〉

◆ 感想

本部の受付でチケットを渡す係をしました。地域の方々が約 1000 組のチケットを作ってくださいましたが、それでも足りなくなるほど、たくさんの方が来てくれてとてもうれしかったです。小さい子どもから大人まで、幅広い世代の方が来てくれて、たくさんの方が楽しむことができるお祭りになったのではないかと思います。ステージでは、マジックや鍵盤楽器での演奏もあり、マジックの助手や演奏の手拍子など、みんなが一緒になって楽しむことができました。たくさんの人と関わり、運営にも協力できてとても良い経験になりました。(中学 3 年)

私は今年初めて形原っ子フェスティバルのボランティアに参加しました。普段関わる機会が少ない大人の方や小さい子たちとたくさん関わることができました。また、自分はヨーヨーすくいを担当でしたが、地域の方と話しながら楽しく準備をすることができました。初めて準備する側を体験し、貴重な時間を過ごすことができました。ぜひこれからも続けていってほしいです。(中学 3 年)

前からずっと、形原っ子フェスティバルの日が来るのをわくわくして楽しみにしていました。当日は、形原中でヨーヨーすくいをやり、リンゴ飴を買いました。

私は、防災アレンジレシピコーナーの係でしたが、レシピを配る時とても緊張しました。もらってくれるかそわそわしましたが、いろいろな人がレシピをもらってくれたのでうれしかったです。ぜひ、そのレシピでたくさんの人に作ってみてほしいです。いろいろな人に会えてうれしかったです。(小学6年)

4 まとめと来年度に向けて

(1) 青少年健全育成協議会（ふれあい活動も含む）

形原地区では、以下に示すように、大きく4つの会議・活動を設けている。

- ① 準備会（4月中旬）・・・新役員により本会（全体会）の実施案（テーマ、活動方針など）について検討する。
- ② 全体会（5月中旬）・・・本年度のテーマを決定する。ふれあい活動の具体的な内容を検討する。地区の情報交換を行う。
- ③ ふれあい活動（6月～11月）・・・各地区の特色を生かした活動を行う。
- ④ 反省会（1月中旬）・・・1年間の反省から次年度の方針について話し合う。

以上のような会議・活動を通して、地域の子どもたちの健全育成に取り組んでいる。

昨年度からコロナ前のような地域が主体となった活動を行うようになった。本年度も昨年度と同様、鹿島北、鹿川はそれぞれ地区ごとに実施し、それ以外の地区はまとめて活動を実施していくことを準備会で決定し、本会議で周知した。

鹿川地区のふれ合い活動では、子どもたちと地域の方がともに清掃活動することで、地域の方との交流の機会を得るとともに、地域の環境を守ることの大切さを実感することができた。また、鹿島北地区のふれ合い活動では、盆祭りの準備や運営、一緒に活動を楽しむことを通して、地域の方と関わり合う喜びを味わうことができた。他地区の活動では、なるべく参加者が快適に過ごせるようにと、本年度は形原中学校の体育館を活動の中心の場とした。それぞれの地区の趣向をこらした出し物の準備・運営を、中学生と地域の方が協力しながら行い、参加された地域住民や小中学生、保育園の園児たちと温かい時間を過ごすことができた。ステージパフォーマンスでは、中学生が要望したマジックショーをはじめ、有志の中学生や地域の方の演奏などが披露され、地域が一体となって楽しむことができた。昨年度から始まった活動だが、本年度は昨年度の約1.5倍の1300人もの人が参加してくれた。

(2) 来年度に向けて

本年度も形原地区で合同でふれあい活動を開催したが、来年度も同様の形で継続するのか、また継続するとしても、さらによりよい活動とするためにはどのような改善・工夫が必要かについて、反省会で検討していきたい。

7 西 浦 地 区

1 青少年健全育成協議会

(1) 青少年健全育成推進協議会準備会

- ① 日 時 令和7年4月21日(月) 16時30分～17時30分
- ② 場 所 西浦中学校 会議室
- ③ 参加者 学区5地区総代、小中学校PTA会長・副会長・女性部長
小学校PTA生活部員、中学校PTA補導部員
小中学校校長、小中学校校務主任、各通学団団長・副団長
保育園園長、保育園父母の会会長・副会長(計44名)
- ④ 協議内容 ・経過説明 昨年度の西浦地区の健全育成ふれあい活動と課題
・健全育成協議会の開催について 基本方針・活動方針の確認
・ふれあい活動の内容検討・役割分担

(2) 青少年健全育成推進協議会

- ① 日 時 令和7年5月8日(木) 10時00分～11時30分
- ② 場 所 西浦公民館
- ③ 参加者 学区5地区総代、学区市議会議員、公民館長、公民館主事
地域学校協働活動推進員、主任児童委員、児童館長、消防団分団長
交通安全協会分会長、交通安全推進協議会事務局長、防犯推進協議会代表
更生保護女性会、保護司、民生委員・児童委員、人権擁護委員、少年補導委員
保育園父母の会会長・副会長
小中学校PTA会長・副会長・女性部長・生活部長・補導部長
小中学校校長・校務主任

【来賓】青少年センター所長、蒲郡警察署生活安全課少年係長(計52名)

- ④ 内 容
 - ア 開会のことば 協議会副会長 知柄総代 鈴木 成人 氏
 - イ 主催者あいさつ 協議会会長 馬場総代 壁谷 隆 氏
 - ウ 青少年センターあいさつ 青少年センター所長 鈴木 洋 氏
 - エ 蒲郡警察署あいさつ 生活安全課少年係長 亀井亜希子 氏
 - オ 協議・報告事項

◎ 基本方針 < 本年度の健全育成スローガン >

西浦人の共通の願い ◎地域みんなで育てる 健やかな西浦っ子
基本方針 「家族とのコミュニケーションを大切にする西浦っ子」
「大きな声で元気にあいさつできる西浦っ子」
「笑顔の絶えない明るい西浦っ子」

◎ 活動方針

- 家庭で子どもと話をしよう。
- 地域・家庭・学校の連携・協力を深めよう。
- 地域みんなで青少年に声をかけ、目をかけ、気をかけよう。
- 家庭の教育力を地域で育てよう。

- ◎ ふれあい活動について 事務局
- ◎ スクールガードの活動について 小学校PTA生活部長
- ◎ PTA見守り隊について 中学校PTA補導部長
- ◎ 各校園の現状報告 西浦保育園・小学校・中学校
- ◎ 西浦の子どもたちのようすについて情報共有

カ お礼のことば 西浦中学校長 小澤 良充 氏

キ 閉会のことば 協議会副会長 知柄総代 鈴木 成人 氏

今年度は地区ごとに分かれて協議を行う時間を設けた。各地区、活発な話し合いが行われた。以下は各地区で挙げられた意見（一部抜粋）である。

総代区における子どもたちの様子(子どもたちの良い点・気になる点など)

- ・あいさつについて、よくしてくれる。(稲生)
- ・空ヶ谷は声かけができる。パーシモンの近く、声かけすると下を向く。(知柄)
- ・子どもたちからのあいさつは少ない。顔を覚えているとあいさつをしてくれている。(橋田)
- ・小学校1年生が入ってきてあいさつが少ない。高学年も少ない。(馬場)
→見守りをする人に統一の何かがあれば安心して子どもたちもあいさつしやすくなる。
- ・公園を利用している子どもはいる。(橋田)

地域で何ができるか。各家庭で何をしていくべきか。

- ・子どもたちの集まる場所をどうつくっていくか。
- ・声かけを大人のほうから積極的に行っていく。
- ・野犬について回覧板で周知していく。
- ・スマホの使い方は親が初めにしっかり話をする。家庭でルールを決める。

各地区の協議内容を全体で共有したことで、西浦の子どもたちの今の姿や、家庭や地域が抱える課題が浮かび上がり、今後の取り組みの方向性が見えた。

2 令和7年度西浦地区「地域ふれあい活動」

今年度の西浦地区のふれあい活動は、5地区合同とし、各地区でお店を出す形式に変更して開催した。出し物を何にするか、どのような物を準備して、いくつ景品を購入するかなど、計画から当日の運営まで中学生の通学団団長と副団長が各地区総代と連携をとって進め、それを中学校PTA補導部員、保護者が支えた。当日はさらに中学生ボランティアとして49名も加わり、中学生が中心となって地域の子どもから大人までを楽しませ、地域を盛り上げた。

日 時：8月2日（土）17時30分～19時00分

会 場：八王子神社（参道など） 【参加者 500名】

テーマ：西浦が一体となった「地域ふれあい活動」

出し物：	地 区	活 動 内 容
	知柄	ボール投げ
	稲生	輪投げ
	馬場	ピンポン玉ゲーム
	龍田	金魚すくい・ペットボトルタワー倒し
	橋田	スーパーボールすくい

<参加児童の感想より>

- ・ペットボトル倒しで、全部倒せてうれしかった。（小1）
- ・金魚すくいをして、私は最後の金魚をすくった。（小2）
- ・地域のおじさんやおばさんたちとかかわることができた。（小3）
- ・一つ一つの出し物に楽しく参加できた。これからも続けてほしい。（小4）
- ・色々な遊びがあって楽しかったし、地域の人たちとかかわることができた。（小5）
- ・中学生の人たちだけでお店をやっていてすごいと思った。私も中学生になったら今の中学生みたいになりたいと思った。（小6）

小学生の参加者は117名で、全校児童の約7割が参加した。家族や友だちと一緒に各地区のお店の出し物を楽しんでいた。また、小さい子を連れた家族づれの姿も多く見られ、会場には笑顔があふれていた。児童の感想「地域の人たちとかかわることができた」からは、ふれあい活動を実施した意義が十分にあったことがわかった。また、頑張る中学生の姿を見て、中学生に憧れる気持ちになった小学生もいた。



<ペットボトルタワー倒し>



<金魚すくい>



<輪投げ>

<生徒の感想より>

- ・出し物を考えるときや買い出しに行くタイミングなどを決めるとき、すべて大人まかせにせず、なるべく中学3年生たちで考えたり、買い出しに行くメンバーを決めたりしました。そのおかげで、今までよりもっと仲間の絆が深まったと思います。(中3)
- ・私は、このふれあい活動は初めてのやり方で正直どのような遊びが小さい子に伝わるのか、不安だらけのスタートでした。けど、自分たちなりにどうしたらいいのか、小さい子でもできそうな遊びは何なのか考え、当日よりよいものにできてよかったです。小さい子や地域の方々と話をしながら、まずは自分たちが盛り上げ、そこから周りの人へ楽しさが伝わり、一人一人が楽しんでくれました。(中3)
- ・祭りは地域の人たちを活性化し、いつもとちがう非日常の空間になったり、運営と夏祭りに参加する人の交流を深めたりして、どこかなつかしいような感じで、参加した人たちにとって楽しい思い出になると思いました。地域を活性化させるには、夏祭りとか一大イベントなどが重要だと感じました。(中1)
- ・いろいろな屋台があってとてもおもしろかったです。量が少なかったのか早く終わってしまったなという印象でした。でも、それだけ人が多く、交流ができたと思います。今回は参加する側でしたが、次は運営側にまわりもっとたくさん地域での交流ができるようにしたいです。(中2)

中学生の通学団団長・副団長を中心に、中学生が仲間や総代さん、保護者等と協力して運営を行い、出し物に参加した人たちを笑顔にした。実施までに苦労もあったが、その姿が運営側の達成感や充実感につながった。今後もふれあい活動を通して地域を活気づけ、人々の交流が深まるようにしていきたい。

令和7年度 健全育成協議会並びにふれあい活動のまとめ

1 健全育成協議会・準備運営委員会等について

健全育成協議会では、地区健全育成協議会の活動方針、委託料予算の審議に続いて、それぞれの地区の青少年の生活状況や危険箇所に関する情報交換、ふれあい活動について話し合うという流れで実施されている。今後の継続した取り組みが期待される。

2 地域ふれあい活動について

本年度の地域ふれあい活動は、ほぼ計画通り実施することができた。一方で長期間続いた酷暑のため、熱中症対策に追われることになった。開催時期や時間帯の見直しをしていただき感謝である。ふれあい活動の準備会に中学生を参加させ、様々な意見を求めたり、開催準備のための仕事を任せたりする地区が増えてきている。こうした地域の大人たちの配慮や期待が、中学生に自己有用感や地区への帰属意識を育み、健全育成に大きな効果がもたらされている。

「ミニ集会」からスタートし、現在の「ふれあい活動」の形に移り変わり始めて30年近く経つ。地域の重要な行事として位置づけ開催している地区も多い。これも総代や常会長、公民館を中心にふれあい活動の意義を十分認識し、開催に向けてのリーダーシップをとっていてくれるからこそである。開催にむけて関係者には開催経費等、様々な負担をかけていると思うが、蒲郡市の特色の一つとして、今後も継続して開催されていくことを切に願う。

Ⅲ 令和7年度 補導及び児童・生徒の状況確認

令和5年度末で、地域補導員（48名）と校外補導員（46名）の委嘱を終了し、昭和38年度から続いた補導員活動に終止符を打った。今後補導の必要ができた場合に補導員を委嘱できるよう補導員要項を改正している。

現在本市は生徒指導上の大きな荒れの状況や問題はほぼ皆無であり、街や学校での様子も概ね良好で落ち着いている。しかし、コロナ明けから約2年が経過した昨年8月以降、徐々に警察署による青少年の補導（深夜徘徊等）件数が増加に転じている。SNSを介して市外や学区外の者をつながりを持つ心配な子どもや若者も少なからず存在する。

市内の7中学校区は、街部と周辺部では子どもや若者を取り巻く環境や状況が異なる。よって今後緊急に補導が必要な状況が生じた学区は、各学区の健全育成協議会単位で独自に補導班や見守り隊を設置いただくことをお願いしていく予定である。

補導及び児童・生徒の状況 確認実施状況	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
立入指導	0	0	0	0	0	0	0	56	0	0	0	0	56
巡視指導・学校訪問	0	2	7	2	11	3	2	3	1	0	1	0	32
情報交換	6	13	7	3	2	5	5	8	1	7	6	2	65
啓発活動	0	0	2	2	0	0	1	2	0	1	1	0	9

IV 令和7年度 青少年健全育成協力店

令和2年11月に青少年健全育成協力店指定要綱を改正し、スーパーマーケット、ドラッグストア、コンビニエンスストアなどに協力いただき、地域ぐるみで青少年を見守り育てる環境を整えている。

令和7年度 青少年健全育成協力店一覧

令和7年12月1日現在 55店舗

店舗名	中学校区
株式会社ラグーナテンボス	大塚
ファミリーマート蒲郡大塚海岸	大塚
ファミリーマート蒲郡大塚店	大塚
丸英自転車店	三谷
蒲ちゃん	三谷
有限会社 二葉書店	三谷
合資会社エンジュ堂薬局	三谷
不二屋	三谷
ファミリーマート蒲郡三谷町店	三谷
ファミリーマート三谷店	三谷
株式会社精文館書店 蒲郡三谷店	三谷・蒲郡
JOYJOY 蒲郡三谷店	三谷・蒲郡
ユニー株式会社アピタ蒲郡店	蒲郡
ドコモショップ蒲郡駅北店	蒲郡
ミニストップ蒲郡八百富町店	蒲郡
セブンイレブン蒲郡港町店	蒲郡
セブンイレブン蒲郡八百富町店	蒲郡
中川自転車商店	蒲郡
サンヨネ蒲郡店	蒲郡
ミント ひな庄	蒲郡
有限会社 金原書店	蒲郡
ヘアーサロンウカイ	蒲郡
ソフトバンク蒲郡	蒲郡
クスリのアオキ豊岡店	蒲郡
まん天や	蒲郡
ケーズデンキ蒲郡店	蒲郡・中部
ファミリーマート蒲郡上本町店	蒲郡・中部
ミニストップ蒲郡緑町店	中部

店舗名	中学校区
ドラッグスギヤマ宝店	中部
バンテン	中部
コミュニティサロン結	中部
ファミリーマート蒲郡栄町店	中部・塩津
幸 美容室	塩津
スギドラッグ蒲郡西店	塩津
ファミリーマート蒲郡塩津店	塩津
DCM 新蒲郡店	塩津
(株)ヤマダデンキ テックランド蒲郡	塩津
リサイクルショップフカツ蒲郡店	塩津
ウェルシア薬局蒲郡竹谷町店	塩津
イオン蒲郡店	塩津
ローソン蒲郡工業団地店	塩津
ファミリーマート蒲郡拾石東浜店	塩津
スギドラッグ竹谷店	塩津
ドコモショップ蒲郡店	塩津
アピナ蒲郡店	塩津
セブンイレブン蒲郡形原町店	形原
ファミリーマート蒲郡春日浦店	形原
(株)ヤマナカ形原店	形原
ドラッグスギヤマ形原店	形原
ローソン蒲郡中戸甫井店	形原
ブティックツルヤ	形原
ヘアサロンワタナベ	形原
いとう理容室	形原
クスリのアオキ形原店	形原
尾崎自転車店	西浦



「青少年健全育成協力店」は地域ぐるみで青少年を見守り育て、非行を防止する環境を整えていくことを目的に、昭和57年度から実施している活動です。

協力店として登録いただける場合は、右図のリンクから申請ください。

(問合せ先 蒲郡市青少年センター 0533-66-1168)



申請はこちらから

V 令和7年度 地域安全・青少年健全育成市民大会

主催 蒲郡市青少年問題協議会
 共催 蒲郡警察署・蒲郡防犯協会連合会・蒲郡市総代連合会
 蒲郡市教育委員会・蒲郡少年補導委員会
 蒲郡市生徒指導研究推進委員会
 社会を明るくする運動蒲郡市実施委員会

10月22日(水)に蒲郡市民会館で「令和7年度 地域安全・青少年健全育成市民大会」を実施した。耐震工事の影響で、本年度は東ホールでの実施となった。

日時 令和7年10月22日(水) 午後1時30分より

場所 蒲郡市民会館東ホール

次第

- 1 開会のことば
- 2 市民憲章唱和
- 3 あいさつ
- 4 優秀ポスター表彰者紹介
- 5 功労者紹介
- 6 顧問祝辞・来賓紹介
- 7 大会宣言
- 8 小学生・中学生・高校生の意見発表並びに表彰・講評



<意見発表者とポスター入賞者>

<会場の様子>



<入賞ポスター作品>

テーマ「明るい社会・安心のまちづくりのために」

意見発表者

蒲郡西部小学校 6年	永島三葉
三谷小学校 6年	酒井明日奏
蒲郡中学校 3年	坂部遼太
三谷中学校 3年	平野菫花
塩津中学校 3年	中田遥斗
大塚中学校 3年	杉浦莉奈
形原中学校 3年	伊藤樺香
西浦中学校 3年	岡村雨音
中部中学校 3年	岡田遥妃
海陽中等教育学校 5年	川澄建斗
蒲郡高等学校 1年	小林千桜
蒲郡東高等学校 2年	仲井寧音
三谷水産高等学校 3年	鹿島羚加

優秀ポスター入賞者

市長賞	三谷中学校 1年	伊藤瀬七
警察署長賞	蒲郡東高等学校 2年	國松日代里
防犯協会連合会長賞	蒲郡中学校 1年	岩川芽衣
蒲郡保護区保護司会長賞	中部中学校 1年	比嘉琉音
入選	西浦中学校 1年	三浦柚月
入選	中部中学校 1年	伊藤美月
入選	中部中学校 2年	青山璃紅
入選	蒲郡東高等学校 2年	稲吉 楓
入選	蒲郡東高等学校 2年	内田逢楓

小学校作文入賞者

蒲南小 6年 篠原耕壽	塩津小 6年 ティロソフイ	形原北小 6年 惣崎晴翔
蒲南小 6年 平野真帆	塩津小 6年 浜口莉穂	形原北小 6年 三田村茉莉
蒲東小 6年 北野谷歩	大塚小 6年 加藤正宗	中央小 6年 石井柚妃
蒲東小 6年 中村夏実	大塚小 6年 宮村美結	中央小 6年 小岩明愛
蒲北小 6年 樫谷 零	形原小 6年 牧原穂佳	三谷東小 6年 大隅 渚
蒲北小 6年 大竹咲良	形原小 6年 藤本結華	三谷東小 6年 武内壮磨
蒲西小 6年 柴田 杏	西浦小 6年 丸山蓮雄	竹島小 6年 鈴木啓悟
三谷小 6年 平野万葉	西浦小 6年 脇山奈々	竹島小 6年 丸山紗和

大会宣言

子どもは未来の日本や蒲郡を担う宝物です。子どもたちや青少年が明るく健やかに成長することができる街にしていくことは大人の責務です。また、事件や事故のない安全で安心して暮らせる住みよい街づくりは、私たち市民共通の願いです。

本市の幼稚園・保育園、小中学校・高等学校では、世間を震撼させるような重大ないじめや事件・事故等は今の時点ではありません。街の様子を見ている、大変落ち着いています。学校における子どもたちは、授業や部活動、学校・園の活動に熱心に取り組む子らがほとんどで、充実した学校園の生活が営まれています。

警察の努力のみならず、学校・園の教育成果の表れであり、地域学校協働活動をはじめとして、地域の方々が常日頃から子どもや若者を温かく見守り、声をかけていただいているお陰です。

昨今の心配事項では、全国的に「盗撮」「わいせつ行為」「虐待」「闇バイト」など、大人の不祥事や不適切な言動が横行していてとても残念です。本市の一般犯罪では、空き巣などの侵入盗をはじめ、自動車盗や自転車盗等の犯罪が多く発生していますし、特殊詐欺被害も高齢者に限らず、いまだ後を絶ちません。

子どもたちでは、SNSによる誹謗中傷・なりすまし被害・性被害・不適切動画掲載などの事案が増え、その低年齢化が進んでいます。不登校や引きこもりの数も依然として増えつつあります。

こうした中、地域・家庭・学校・関係諸機関がいっそう一体となり、相互の絆を確かなものにし、未来を担う青少年の健全な育成に努め、安全・安心な社会をつくっていかねばなりません。

私たちは、今一度一人ひとりが「犯罪や事故にあわない」「犯罪や事故を起こさない」「犯罪を見逃さない」「地域や家庭の教育力を高める」、そして「大人が範を示す」を合言葉に、笑顔とともに誇りと熱意をもって、地域安全・犯罪防止・交通事故防止・青少年の健全育成活動に取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和7年10月22日

令和7年度 地域安全・青少年健全育成市民大会

VI 令和7年度 子ども・若者支援活動報告

1 令和7年度蒲郡市子ども・若者支援ネットワーク協議会の活動

- (1) 代表者会議 6月9日(月)
- ・令和6年度活動報告、令和7年度活動方針・活動内容の提案
- (2) 実務者会議
- (6/9) ・協議会参加者の紹介報告会
- ・相談窓口の利用状況と今後の課題
- (11/17) ・講演会「その方のライフステージに合わせた相談支援を行うために～アセスメントの重要性と意思決定支援～」
- 蒲郡市障がい者支援センター センター長 中川学氏
- (3) 一般社団法人パーソナルラボ(旧東三河セーフティネット)との連携を密にした。
- (4) 「子ども・若者相談窓口」を市民に案内
- ・広報がまごおり掲載、イメージキャラクターを掲載したリーフレットを作成し、市民へ周知を図った。
 - ・小中学校や、各地区民生委員会議で、相談窓口設置についての周知を図った。
- (5) がまごおり若者サポートステーションとの連携強化
- 不登校児童生徒に対する相談支援の実施
- (6) 相談メールアドレスの二次元コードを掲載した窓口PRカードの作成
- 卒業時、市内中学3年生全員に配布

2 子ども若者相談窓口の相談件数(令和8年1月23日現在)

○月別相談件数

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
6	14	27	34	30	12	35	66	33	36	31	60	51	436
7	65	44	53	40	24	29	71	37	33	23			419

○実人数(年齢・性別)

年度	幼	小	中	高	大・専	15~19	20~29	30~39	40~	不明	計	男	女	新規	継続
6	0	12	8	13	1	2	9	3	1	0	49	35	14	42	7
7	0	12	8	8	1	8	2	4	0	1	44	23	18	27	17

○主な相談内容

年度	親子関係	虐待・暴力	不登校	いじめ	学業・進路	ひきこもり	精神疾患	発達障害	就労支援	対人関係	その他	合計
6	7	0	18	1	3	4	1	0	1	5	9	49
7	4	1	15	0	2	3	3	2	2	0	12	44

お気軽にご相談ください。お待ちしております！



つながり
くろう
じっくりと
つじです

蒲郡市子ども・若者相談窓口

子ども・若者相談窓口って何？

自立に困難を抱える子ども・若者一人一人に寄り添い、適切な支援・相談機関の紹介、情報の提供や助言を行う蒲郡市の機関です。

ニート・ひきこもり、不登校、非行に関する困りごとやいじめなど様々な困難に対して、必要に応じて、教育、福祉、雇用など各分野に支援を依頼し、就労・就学に結びつくような対応に努めます。

どんな相談ができるの？

「就労・就学の不安」「対人関係」「生き方の不安」などの悩み、「不登校」「高校・大学の中退」「ニート」「ひきこもり」「非行に関する困りごと」や「いじめ」など、どんな相談でもお受けします。

誰でも相談に乗ってもらえるの？

蒲郡市に在住、在学のおおむね40歳未満の方が対象です。(小中学生、高校生、大学生も対象です) **相談は無料です。**

本人、ご家族、親戚、学校、地域の支援団体など、どなたからの相談にも応じます。

どのような機関が支援してくれるの？

お話を伺う中で、他機関を紹介したり、他機関と連携して支援する場合があります。支援の中核となる機関は、がまごおり若者サポートステーションで、就労に向けた仕事体験、各種セミナー等を実施しています。不登校児童生徒に対する学習支援も行っています。また、パーソナルラボ(旧:東三河セーフティネット)の家族環境支援士による支援も可能です。その他、子ども・若者支援ネットワーク協議会に参加している、福祉、保健、教育、雇用等の公的機関・民間機関が支援を担当します。

相談方法は？

窓口での面談、訪問相談、電話相談、メール相談となります。

<相談日・相談時間>

毎週 月・水・木・金曜日 午前9時～午後4時まで
(祝日と年末年始はお休みです)

<所在地>

愛知県蒲郡市港町17番17号
蒲郡市生命の海科学館1階



<相談申込先>

電話 0533-95-3100

または、LoGo フォームで

(上記 QR コードを読み取ると、下記のアドレスにつながります)

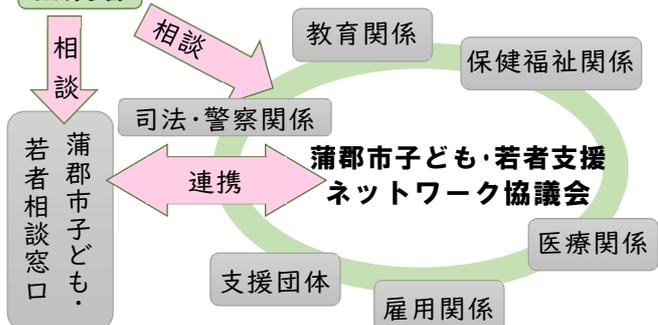
<https://logoform.jp/form/UpCD/99508>

※ 蒲郡市子ども・若者相談窓口は、蒲郡市教育委員会生涯学習課青少年センターが運営しています。

※ 生命の海科学館は火曜日が休館日です。



相談者



【おわりに】

「子どもは親や大人の背中を見て育つ」

休日に自家用車で出かけたとき、とある横断歩道前で母と幼子が、通過していく車両が止まるのを待っていた。母の手は幼子の手をしっかりと握りしめていた。僕の前を走っていた車両は、母子に気づかなかっただろう。そのまま素通りしてしまった。幸いその様子を見落とさなかった僕は、横断歩道前で停車し親子の横断を促した。

母親は幼子の手を引きながら反対の手を挙げて横断歩道を渡りはじめた。幼子も母親に握られた手の反対の手をピンと高く挙げながら足早に通過していく。母子が僕の車の前あたりに差し掛かると、母親は僕の方に顔を向けて、深々と二度ほどお辞儀をしながら、何やら口を開いていた。車の窓を閉めていたので、その声は良く聞き取れなかったが、おそらく「ありがとう」と言ってくれたのだと見て取れた。幼子も母親のその姿とシンクロして頭を下げながら、こちらを見て大きく口を開いていた。唇の動きは、やはり「ありがとう」だった。僕も、自然と運転席で少し頭を下げ頷いて、にこりと笑顔を返した。

この母子の姿は、ごく日常の当たり前の光景だが、何やら心がほっこりした瞬間だった。「日本人のマナーの良さは今でも生きていて素晴らしい」「こうやって親の良き姿が子どもに伝わっていくんだよね」と実感した。

大人のマナー欠損や子育ての在り様が問われる時代。大人の犯罪やマナー違反、誹謗中傷、他者を攻め立て自分の非を認めない大人などの報道ばかりが目につく。親が子どもを虐待する家庭も増えた。学校現場でも子どもを導く教職員の盗撮やわいせつ事案が日本中あちこちで報道されている。「世の中の大人たちよ、しっかりしなさい！」と天の声が聞こえるようだ。

また昨今、子どもたちに「どんな大人になりたいか?」「将来の夢は?」と尋ねたとき、「お父さんのようになりたい」「お母さんのようになりたい」という回答が以前より減ったそうだ。両親が共働きで子どもと接する時間が少なく、親の姿を垣間見る時間が少ないのも要因だろう。また親も家に帰れば、子ども同様にゲーム三昧とか、家族会話はSNSで済ますという家庭も増えたようだ。子どもたちは親から直接学ぶことよりも、ネットやSNSの膨大な情報を鵜呑みにして洗脳されてしまうことの方が多いのも事実だ。実際の生の親の背中を体感する機会が少ないことと、膨大な情報に翻弄されているために、子どもにとっての理想の大人像が両親でなくなっているのかもしれない。

大人が子どもへの愛情をもって、その背中で範を示していくことこそが子育ての基本。いつの時代も子どもは大人の背中を見て育つ。とりわけ親の背中(言動)の影響力は大きい。子どもに「こうすべき」「こう育ちなさい」と百回口で言うより、一度の確かな親や大人の背中(言動)こそが子どもに範を示し導いていくのだ。

＜表紙のマーク＞

平成 22 年度一般公募により決定した蒲郡市青少年健全育成地域活動のシンボルマークです。

水色は蒲郡の美しい海、オレンジは若さ明るさをイメージし、「地域の人々の手で明るく青少年を守ろう」のコンセプトで作成されています。

発行日	令和 8 年 2 月 28 日
発行	蒲郡市教育委員会
編集・印刷	蒲郡市青少年センター
〒443-0034 愛知県蒲郡市港町 17-17	
生命の海科学館内	
電話 0533-66-1168	
表紙印刷・製本	親和原田プリント(株)